

環境を守る



ごみの減量に向けた 意見交換会などを開催

家庭ごみの減量施策として有料化が効果的かどうかについて、基礎的な調査を行うほか、各区で市民との意見交換会も開催します。「広報さっぽろ」でも、シリーズ企画を組んで、皆さんから幅広い意見をもらいたいと考えています。



17年度の 主な取り組み

「新まちづくり計画」
(16～18年度)に基づく
事業を着実に推進



都心部をより快適な空間に

札幌駅前通地下歩行空間の 整備がスタート

地下鉄の「さっぽろ駅」と「大通駅」とを結ぶ「札幌駅前通地下歩行空間」。17年度は、実施設計に着手するほか、駅前通のハルニレの移植準備工事、地下鉄さっぽろ駅の改修工事や埋設物の移設工事などが始まります。



「札幌駅周辺」を中心に自転車対策を強化

- 自転車などの放置禁止区域に指定(7月)
- 駐輪場整備 約2,900台⇒約4,900台(7月)
- 周辺の駐輪場を有料化(10月)

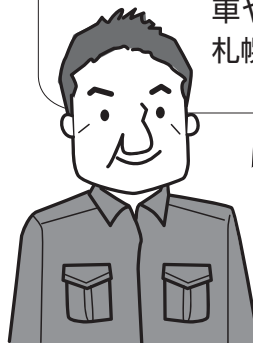
な
る
街
が
ま
よ
い
に



元気な経済を目指す

モエレ沼公園が 7月 グランドオープン

7月1日、整備開始から23年を経て、東区のモエレ沼公園が全面オープンします。7月3日まで、市民の皆さんと協働でイベントを開催。また、17年度は、近接する「さとらんど」への馬車や循環バスの運行実験も行い、札幌の新名所に育てていきます。



17年度の キーワードは連携

「大通ふるさと市場」と 「フードランド北海道」の連携を強化

9月

9月上旬、大通公園を会場に、道内市町村との協力の下で開催している「札幌大通ふるさと市場」と、商工会議所などを中心に開催している「フードランド北海道」。今年から、北海道や道内の市町村、民間と協力しながら、2つのイベントの連携強化に取り組み、観光客の誘致にもつながる「食」をテーマとした一大イベントを目指します。

主要国首脳会議(サミット)の誘致を目指して

北海道や経済団体などと連携して、2008年に日本で開催されるサミットの誘致に取り組みます。

サマータイム制度を推進

商工会議所などとの連携により、サマータイムについて理解を深めるための事業を実施します。

札幌元気基金を充実

- 小規模事業者向けの長期資金融資を新設
- ベンチャー企業向け投資ファンドを民間と共同で創設

FISノルディックスキー 世界選手権のプレ大会を支援

2007年に開催される札幌大会に向けた施設改修や、そのプレ大会開催（2～3月）への支援を行います。

マスコット
キャラクター

ノルッキー



サッポロ・アート・ステージ 2005を開催

11月



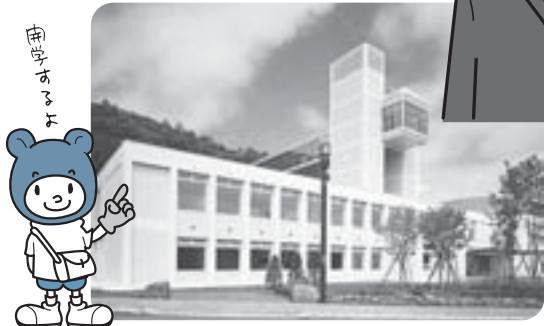
11月を「秋の芸術文化月間」と位置付け、「ストリートライブ」「演劇」「音楽祭」など一連の催しにより、札幌の街を芸術文化活動で彩ります。札幌から次々とアーティストが誕生する、そうした豊かな土壌を築いていけるといいですね。

次代の札幌人をはぐくむ

(仮)札幌市立大学が開学

デザインと看護の2学部を持つ市立大学が、いよいよ来春に開学します。初代学長には、筑波大学大学院の原由昭教授が内定。「市民に開かれた大学」づくりを目指します。

18年4月



旧札幌控訴院法廷を復元

大通西13丁目の資料館内に、旧札幌控訴院の刑事法廷を復元し、司法教育の充実を図るための場として活用します(18年度オープン)。

〈3つの重点項目〉…P2

「地域」「子ども」「高齢者・障がい者」

地域のまちづくり活動を推進

⇒P6「まちづくりセンター～」参照。

少子化対策を一層強化

- 保育所の定員 590人増
- 区子育て支援センターの整備
従来の保育所機能のほか、常設の子育てサロンや相談窓口なども設けます。
(開設予定) 豊平・西・手稲区18年4月、東区19年4月
- 不妊治療支援
体外受精・顕微授精に係る費用の一部を助成。不妊に悩む方の相談体制も整備します。
(助成内容) 年度当たり上限10万円
(開始予定) 10月

高齢者の自立支援を促進

- 高齢者虐待防止や認知症対策を進める「2015年の高齢者介護推進」
- 生きがいづくりと社会参加を進める「はつらつシニアサポート」

障がいのある方への支援を拡充

- IT(情報技術)を活用した障がい者の在宅就労支援
- 障がい者グループホームの設置費補助
(新規設置予定数: 知的20カ所、精神10カ所)

地下鉄駅へのエレベーター設置を推進

- (完成) 南郷18丁目駅、円山公園駅
- (着工) 中島公園駅
- (設計) 北18条駅、南郷7丁目駅、菊水駅